



世界自然遺産「小笠原」にある小学校



小笠原村立 小笠原小学校

父島ならではの特色ある教育活動

「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」が溢れる 確かな学力

島ならではの感性を生かして、どこにでも通用する学力を身に付けさせるために、**小・中学校9年間の系統的な学びを推進し、『わかる』から『できる』授業の実現を目指します。**



学びを深める「振り返り活動」



担当とALT協働の外国語授業



きめ細やかな算数少人数指導



タブレット端末の効果的活用

小笠原学習

南洋踊りや小笠原太鼓をはじめとした小笠原の伝統・文化を学ぶ授業、アオウミガメをはじめとした固有種や希少種を教材とした授業など『**小笠原学習**』を通して、豊かな心を育成します。



5年「アオウミガメの学習」



6年「南島遠足」



4年「小笠原太鼓の学習」



3年「南洋踊り」

教育目標は、知・徳・体の調和

- ・自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- ・夢や目標を持ち、たえず学び続けよう
- ・心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう



小笠原 をこよなく愛し、次世代を担う子供たちの育成のために、一緒に働いてみませんか。

小笠原小学校での教員経験は、きっとあなたの大きな宝となります。

小笠原小学校ホームページ（竹芝より1000km南から更新中）
<http://www.ogashou.ogasawara.ed.jp/>



〒100-2101 東京都小笠原村父島字宮之浜道

TEL 04998-2-2012

World Natural Heritage Ogasawara Islands
世界自然遺産 小笠原諸島

令和6年度 小笠原村立小笠原小学校 学校経営グランドデザイン

○学習指導要領
・個別最適な学びと協働的な学び
○東京都教育施策大綱
・誰一人取り残さず、全ての子供が将来への希望をもって、自ら伸び、育つ教育
○小笠原村教育委員会主要施策
・小中一貫教育を基盤とした各種教育活動の拡充

教育目標

- ・自分を大切にし、思いやりの心をもとう
- ・夢や目標を持ち、たえず学び続けよう
- ・心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう

○本校の概要
・創立56周年
・地域に開かれた学校
・素直で学習意欲のある児童が多く、落ち着いた環境
・通常の学級6学級（副担任制）
特別支援学級2学級（知固・情固）
特別支援教室
・小中一貫教育推進

ほめて共感して考えさせる教育

目指す児童像

- 「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」があふれる児童
- 柔軟なものの見方・考え方をもち、学び続ける児童【確かな学力】
 - 規範意識と思いやりのある児童【豊かな人間性】
 - 健康に関心をもち、進んで体を動かす児童【健康・体力】

目指す学校像

笑顔で始まり、言葉で自分の思いや考えを伝え合い、本気で力を発揮する最幸の学校

目指す教師像

「教職員が児童の成長を自分のことのように喜び合える」豊かな人間性と指導力、情熱をもち、児童の声に傾聴し、共感できる教職員。
※笑顔・あいさつ・チャレンジ・組織の意識→統一感をもった指導

重点目標と方策

1 「確かな学力」の向上

- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- 「やりたい」「知りたい」「学びたい」「伝えたい」が溢れる授業。そのための基礎的・基本的な知識や技能の定着と体験活動、タブレット端末の効果的な活用
- ユニバーサルデザインを活用した授業改善
- 主体的に学ぶ意欲の向上、学習習慣の定着（家庭学習）
- 地域を生かした教育活動の充実（小笠原学習）
- 9年間の学びの連続性（小中一貫教育）
- 読書活動の充実（朝読書、読書週間、図書ボランティア、環境整備）

2 「豊かな心」の育成

- 互いに認め合い、児童にとって、居心地のよい学級、学校づくり
- 生命の大切さ、思いやりの心の育成
- 異学年交流（なかよし班）や地域との交流活動の充実
- 基本的な生活習慣と規範意識の育成
- 差別やいじめを絶対に許さない指導の徹底
- 道徳授業を中心とした全教育活動における心の教育・道徳教育の推進
- 人権教育の充実

3 「健やかな体」の育成

- 体力向上の取組（体力テストの結果分析）
- 健康的な生活習慣の定着（手洗い、うがい、換気等による感染対策の徹底）
- 食育の充実（バランスのよい食生活・食事のマナー）、歯磨き習慣→家庭との連携
- 保健指導の充実と家庭と連携した生活習慣の定着
- 安全教育の推進（生活安全・交通安全・災害安全）
特に災害安全の重視（防災学習・避難訓練）

4 「支援体制」の充実

- インクルーシブ教育の推進
- 児童相互が多様性を理解し、共に学び生活できる環境・授業づくり（交流及び共同学習・小集団学習）
- ヤシの木学級・ヤシの木特別支援教室の適正な運営と充実
- 支援委員会の運営と対応の充実（配慮を必要とする児童の実態把握、早期の相談、支援等）
- 教育相談の充実（教育相談的手法を生かした指導、SCの活用）
- 保育園との連携、体験授業の実施及び中学校との連携強化

5 「学校・家庭・地域社会」との連携強化

- 学校評価を生かした学校経営の充実
- 教育活動の迅速な情報発信と情報共有（学校だより、学級だより、学校WEBサイト等）
- 教育活動の公開（学校公開、行事、道徳授業地区公開講座等）
- 学校間連携教育の推進（小中一貫、母島小学校との交流、小笠原高校との連携）
- 地域教材・人材を活用した教育活動の充実（小笠原学習）
- 地域行事への参加・協力（地域との交流活動）

6 「学校力・教師力」の向上

- 組織的・計画的・効果的な学校運営（職層を生かした組織運営、報告・連絡・相談・確認の徹底）
- 学級担任・副担任によるチームでの学年運営と対応力の向上
- 小中一貫教育に向けた取組の充実
- 校内研究の充実と相互授業観察等を通じた教員の授業力向上
- 教育効果を高める事務執行（情報管理の徹底、コスト意識）
- 働き方改革と健康の維持・増進

小中一貫教育の充実(9年間の学びの連続性)